

第十回 桜原桜賞記念ステージ

短歌はいいね

現代短歌の魅力

歌人の俵万智さんと 桜原桜賞選考委員長で歌人の
桜川冴子さんによる 現代短歌にまつわるエトセトラ



歌人 俵万智さん



桜原桜賞選考委員長
歌人 桜川冴子さん

記念
対談

日時：令和6年 3月24日(日)

13時開演 12時30分開場

プログラム 13:05～ 短歌朗読
13:50～ 記念対談
(15:20 終了予定)

場所：福岡市立南市民センター 文化ホール
(福岡市南区塩原2-8)

参加料：無料

要 事前申込



申込は
こちら
から

主催：桜原桜賞実行委員会（事務局福岡市南区企画振興課）
電話：092-559-5064 メール：hibaru@city.fukuoka.lg.jp

共催：福岡市

協賛：(株)九電工 大橋シティボウル (株)新生堂薬局
(株)杉田写真館 大橋ガーデンスタジオ
(株)ダイキョープラザ (株)ディアマインド (株)ひよ子
(公社)福岡県宅地建物取引業協会南部支部
(株)マイマイ(マイマイスクール) (株)山口油屋福太郎
(医)優誠会 雪印メグミルク(株) (株)REEHA スポーツクラブ&スパルネサンス福岡大橋24

後援：福岡市教育委員会 (公財)福岡市文化芸術振興財団 西日本新聞社 毎日新聞社 朝日新聞社 読売新聞社
福岡市内郵便局



短歌
朗読

「さくらをうたふ」

あやね
彩音まさきさん

第10回 桜原桜賞記念ステージ

短歌はいいね ～現代短歌の魅力～

記念
対談



俵 万智 (たわら・まち) 歌人

1962年、大阪府生まれ。早稲田大学卒。1986年、作品『八月の朝』で第32回角川短歌賞受賞。1987年、第一歌集『サラダ記念日』を出版、ベストセラーとなる。翌年、『サラダ記念日』で第32回現代歌人協会賞受賞。2004年評論『愛する源氏物語』で第14回紫式部文学賞受賞。子育ての日々を詠んだ第四歌集『プーさんの鼻』で、2006年第11回若山牧水賞受賞。歌集の他、小説、エッセイなど著書多数。2021年歌集『未来のサイズ』で詩歌文学館賞、遼空賞。長年の清新な創作活動と短歌の裾野を広げた功績により朝日賞受賞ならびに紫綬褒章。最新歌集は『アボカドの種』。

桜川 冴子 (さくらがわ・さえこ) 歌人・福岡女学院大学准教授
桜原桜賞選考委員長



1961年生まれ。福岡市文学賞、福岡市文化賞、青木秀賞、博報賞などを受賞。歌集は『六月の扉』『月人壮子』『ハートの図像』『キットカットの声援』『さくらカフェ本日開店』『流』『桜川冴子歌集』(文庫)。歌書は『短歌でめぐる九州・沖縄』(編著)、『馬場あき子と読む「無名抄」』(共著)。「筑紫歌壇賞(全国の60歳以上の第1歌集が対象)」「福岡市文学賞」「福岡市文化賞」「福岡県短歌大会」「福岡県歌人会歌集賞」「曾於やごろう青春短歌大賞」等の選考委員を務めている。太宰府天満宮短歌大会、福岡県医師会歌壇その他選者。福岡文化連盟理事。

短歌
朗読



彩音 まさき (あやね・まさき) 歌人・朗読家

福岡県豊前市在住。短歌を詠み、文章を書くかたわら、万葉集から現代詩まで、即興で曲をつけて歌ったりする朗読パフォーマンスを行う。両親の在宅介護により、活動中止をはさみながら、自身の体調とも向き合いながら、音声訳ボランティアや小さな朗読会に参加する。「さくらをうたふ」という久方ぶりの詩歌朗読で、さくらとの出会いをたのしみたい。

日 時：令和6年 **3月24日(日)** **13時 開演** 12時30分開場

場 所：福岡市立南市民センター文化ホール(南区塩原2-8)

参加料：無料 **要 事前申込** 申込はこちらから



電車：西鉄大橋駅より天神方面へ徒歩約15分
JR竹下駅より、大橋方面へ徒歩約15分
バス：西鉄バス「南市民センター前」下車すぐ

第10回
桜原桜賞
表彰式

日 時：令和6年3月24日(日) 10:30~11:30

場 所：福岡市立南市民センター文化ホール(福岡市南区塩原2-8)

参加料：無料 事前申込不要

次 第：受賞作品表彰のほか、詩吟による受賞作品朗詠、

寺田蝶美さんによる筑前琵琶演奏「桜原桜」の演目があります。

どなたでも無料で
ご覧になれます
当日観覧OK!